

事業番号	093
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	環境保全推進事業						担当部	市民生活部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	環境対策課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	環境保全係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		4 環境		1 環境意識を高めます									
		副目的	4-4													
	予算区分	款	4		項	1		目	3		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	合瀬川の清流を取りもどす会規約														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	自然環境団体の活発な活動の促進を図ることにより、小牧市内の自然環境の保全に寄与する。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 合瀬川の清流を取りもどす会では、毎年3市2町(犬山市・小牧市・北名古屋市・扶桑町・大口町)で水質・生物調査を行い、河川環境保全のための監視活動や沿川住民と協働して河川美化活動を実施している。 小牧市は合瀬川の清流を取りもどす会の事務局として、毎年5月末に開催される理事会・通常総会を含める年5回の会議と河川美化活動をはじめとする年6回の行事の連絡調整、資料作成等の事務を行なっている。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 合瀬川の清流を取りもどす会負担金(259千円) 自然環境観察人研修会講師謝礼・水生生物等調査員謝礼(100千円) 消耗品・食料費等(98千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 合瀬川の清流を取りもどす会負担金(259千円) 自然環境観察人研修会講師謝礼・水生生物等調査員謝礼(130千円) 自然環境観察人養成講座事業委託費(284千円) 消耗品・食料費等(167千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	336	515	457	840	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.19
			人件費	千円	1,052	1,052	1,052	999
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	1,388	1,567	1,509	1,839		
対前年比	%			112.8	96.2	121.8		
財源	一般財源	千円	1,388	1,567	1,509	1,839		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	補助負担団体	団体	目標	1	1	1
実績				1	1	1	
業	美化活動実施回数	回	目標	6	6	6	6
			実績	6	6	6	
績	合瀬川の清流を取りもどす会の会議数	回	目標	5	5	5	5
			実績	5	5	5	
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	美化活動参加人数 (大山川を愛する市民の会)	人	目標	2,200	2,000	2,200	1,800
実績			1,900	2,100	1,700		
績			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		
	事業の達成状況	成果指標の美化活動参加人数が減少したが、当日の天候不良が原因と考察されるため、目的は概ね達成できた。	
	事業実施における課題	合瀬川の清流を取りもどす会の事務局は、昭和48年の結成以降小牧市が継続して努めている。しかし、事務局として小牧市が負担する事務量が大きくコスト(人件費)の面から引き続き小牧市が事務局を担当することは有益でない。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	合瀬川の清流を取りもどす会が継続的に実施している各種調査データの蓄積が途絶える。また、各種啓発事業を縮小した場合、自然環境に対する市民の意識低下が懸念される。	
平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	合瀬川の清流を取りもどす会の事務局の持ち回り、事業の担当制等を構成市町と協議し、改善することにより事務局の負担を減らす。 自然環境観察人養成講座の内容充実を図るため、市民の意見を反映できる協働事業により開催する。	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	合瀬川の清流を取りもどす会が実施している各種調査データは自然環境を保護する上で貴重な資料となるものであり、各種啓発事業は市民の自然環境に対する意識の向上を図る上で有益である。	
	27年度以降の改善案	合瀬川の清流を取りもどす会の組織のあり方について、事務局の持ち回り、事業の担当制の他に、NPO団体への委託、組織のスリム化等を検討する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。

事業番号	093
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	環境保全推進事業						担当部	市民生活部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	環境対策課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	環境保全係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		4 環境		1 環境意識を高めます									
		副目的	4-4													
	予算区分	款	4		項	1		目	3		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	合瀬川の清流を取りもどす会規約														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	自然環境団体の活発な活動の促進を図ることにより、小牧市内の自然環境の保全に寄与する。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 合瀬川の清流を取りもどす会では、毎年3市2町(犬山市・小牧市・北名古屋市・扶桑町・大口町)で水質・生物調査を行い、河川環境保全のための監視活動や沿川住民と協働して河川美化活動を実施している。 小牧市は合瀬川の清流を取りもどす会の事務局として、毎年5月末に開催される理事会・通常総会を含める年5回の会議と河川美化活動をはじめとする年6回の行事の連絡調整、資料作成等の事務を行なっている。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 合瀬川の清流を取りもどす会負担金(259千円) 自然環境観察人研修会講師謝礼・水生生物等調査員謝礼(100千円) 消耗品・食料費等(98千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 合瀬川の清流を取りもどす会負担金(259千円) 自然環境観察人研修会講師謝礼・水生生物等調査員謝礼(130千円) 自然環境観察人養成講座事業委託費(284千円) 消耗品・食料費等(167千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	336	515	457	840	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.19
			人件費	千円	1,052	1,052	1,052	999
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	1,388	1,567	1,509	1,839		
対前年比	%			112.8	96.2	121.8		
財源	一般財源	千円	1,388	1,567	1,509	1,839		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	補助負担団体	団体	目標	1	1	1
実績				1	1	1	
業	美化活動実施回数	回	目標	6	6	6	6
			実績	6	6	6	
績	合瀬川の清流を取りもどす会の会議数	回	目標	5	5	5	5
			実績	5	5	5	
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	美化活動参加人数 (大山川を愛する市民の会)	人	目標	2,200	2,000	2,200	1,800
実績			1,900	2,100	1,700		
績			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		
	事業の達成状況	成果指標の美化活動参加人数が減少したが、当日の天候不良が原因と考察されるため、目的は概ね達成できた。	
	事業実施における課題	合瀬川の清流を取りもどす会の事務局は、昭和48年の結成以降小牧市が継続して努めている。しかし、事務局として小牧市が負担する事務量が大きくコスト(人件費)の面から引き続き小牧市が事務局を担当することは有益でない。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	合瀬川の清流を取りもどす会が継続的に実施している各種調査データの蓄積が途絶える。また、各種啓発事業を縮小した場合、自然環境に対する市民の意識低下が懸念される。	
平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	合瀬川の清流を取りもどす会の事務局の持ち回り、事業の担当制等を構成市町と協議し、改善することにより事務局の負担を減らす。 自然環境観察人養成講座の内容充実を図るため、市民の意見を反映できる協働事業により開催する。	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	合瀬川の清流を取りもどす会が実施している各種調査データは自然環境を保護する上で貴重な資料となるものであり、各種啓発事業は市民の自然環境に対する意識の向上を図る上で有益である。	
	27年度以降の改善案	合瀬川の清流を取りもどす会の組織のあり方について、事務局の持ち回り、事業の担当制の他に、NPO団体への委託、組織のスリム化等を検討する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。